

2026
春号
No.102

ほ な み
穂 濤
For WASEDA University Old Boys & Girls

発行所
早稲田大学藤沢稲門会
事務局
FAX 050-3730-7252
E-mail:w.fujisawa@
crocus.ocn.ne.jp
発行人 笹井修一
穂濤編集委員会

2026年度定時総会

今年度定時総会は、2月23日(祝月)に藤沢市民会館第一展示集会ホールにて開催された。春めいた陽気のもと73名の会員が参集した。総会は、定刻の12時に神藤利路幹事の長の司会で開始された。先ず昨年亡くなられた8人の方々に黙祷を捧げた。笹井修一会長の挨拶では、会員年齢構成グラフ(スライド)を用い藤沢稲門会の現状と課題が示された。藤沢稲門会の魅力アップと収支均衡達成が、進取の精神による弛まぬ挑戦として課せられている。続いて山口金雄幹事が議長に選出され、議事審議が進められた。神藤利路幹事長より2025年の活動報告及び2026年事業計画、田中雄一副会長より2025年決算報告と2026年収支予算案、渋谷道雄会計監事からは2025年監査報告がなされ、また、笹井修一会長より退任幹事2名と新人幹事3名を含む幹事26名選任の提案があり、これらの議案は拍手を持って承認された。今回は、今までと異なり簡素で安価な総会を目指した。会員自らの手による会場設営や机配置然り、福祉法人光友会特製弁当の採用然りである。また、予め、議事に沿

簡素で安価な総会を開催!

今年度定時総会は、2月23日(祝月)に藤沢市民会館第一展示集会ホールにて開催された。春めいた陽気のもと73名の会員が参集した。総会は、定刻の12時に神藤利路幹事の長の司会で開始された。先ず昨年亡くなられた8人の方々に黙祷を捧げた。笹井修一会長の挨拶では、会員年齢構成グラフ(スライド)を用い藤沢稲門会の現状と課題が示された。藤沢稲門会の魅力アップと収支均衡達成が、進取の精神による弛まぬ挑戦として課せられている。続いて山口金雄幹事が議長に選出され、議事審議が進められた。神藤利路幹事長より2025年の活動報告及び2026年事業計画、田中雄一副会長より2025年決算報告と2026年収支予算案、渋谷道雄会計監事からは2025年監査報告がなされ、また、笹井修一会長より退任幹事2名と新人幹事3名を含む幹事26名選任の提案があり、これらの議案は拍手を持って承認された。今回は、今までと異なり簡素で安価な総会を目指した。会員自らの手による会場設営や机配置然り、福祉法人光友会特製弁当の採用然りである。また、予め、議事に沿



スライドで説明する笹井修一会長

2026年度 事業計画

- 基本方針
- ①次世代の稲門会をつくる
 - ②母校への恩返しと社会貢献
 - 「行事・他」
 - ☆箱根駅伝沿道応援 (1月2・3日) 応援人数延べ150名、新規加入者8名。

- ☆総会・新春のつどい(2月23日) 長寿表彰対象者9名。
- ☆地引綱(5月3日/日曜日) 新趣向による開催を企画。バリアフリービーチマットを敷設して、福祉施設とコラボを予定。
- ☆新入会員交流会 新たにご参加された会員のご意見ご要望をお聞きする場として早期に実施の予定。
- ☆藤箱懇話会 興味深いテーマと講師を選定し、2〜3回程度開催を計画、藤沢三田会と共催も検討。
- ☆作品展 第23回作品展は、ODAKYU湘南GATE(藤沢市民ギャラリー)は1月6日〜11日開催、来場者1851名と盛況。次回は12月開催予定。
- ☆女性若手の親睦交流会 「神奈川女性の会」の主管稲門会として県下会員との親睦交流を図るほか女性校友への入会呼びかけと会員相互の親睦を図る交流会等を企画。
- ☆「県下女性の会」の主管として4月19日江の島でランチ会を計画。
- ☆「神奈川平成卒の会」として若手会員の親睦交流会を予定。
- ☆県下稲門会及び他大学との交流
- ☆藤沢三田会及び藤沢白門会とは、適宜、情報を交換して行く。

- ・SUCに関しては状況を見ながら参加または不参加を検討する。
- ☆三役会 新幹事や若手幹事とのミーティングを実施し、方針・施策の確認と行事推進に関するアイデアなど幅広く聴取。
- 「各委員会活動方針」
- ◆組織拡大活性化委員会 ☆H.P・LINEを活用した継続的な入会活動展開。(サイト運営チームとの連携) ☆箱根駅伝応援におけるターゲットを絞った新入会員増強活動。
- ☆新入会員交流会の実施等を通じて行事、同好会への参加促進。
- ☆藤箱懇話会の定期的な実施と会員の興味をそそるテーマと講師選定。
- ◆行事企画運営委員会 ☆箱根駅伝応援・新春の集い・地引綱・作品展をメイン行事として継続。会員とその家族にとって楽しめ、さらに地域社会との交流を深めることができるようなイベントを創意工夫していく。
- ☆各同好会、委員会等のイベント支援もしくは共催。
- ☆新規イベントの創出。
- ☆呼びかけにはH.P、藤沢稲門会LINEを活用していく。
- ◆女性の会 ☆女性校友の入会呼びかけ、会員相互の親睦を深める。
- ☆女性の会主催の懇親会を開催する。(年1〜2回実施)
- ☆他委員会と連携してイベントを

穂 濤



お二人の熱演!!

内田進相談役による発声にて乾杯。会場内は久しぶりの親交に会話が弾む。長寿表彰(昭和40年卒)は9名を代表し、吉田友昭氏が挨拶をされた。さらに新入会員7名

冒頭、笹井修一会長より「この集いを今後の藤沢稲門会を語り合う良い機会とした」との言葉があった。続いて早稲田大学松本裕幸地域担当部長、東島正樹神奈川県支部長よりそれぞれ近況報告を交えた挨拶をいただいた。

新春の集い

総会終了後同会場にて来賓17名を含む90名の参加により新春の集いが開催された。

暖かな陽ざしの中笑顔があふれた!

企画する。
☆県下他稲門会「女性の会」との交流に努める。
◆広報委員会
☆「穂濤」の発行回数を減らし、

年間3回(3月・7月・12月予定)12ページを計画する。
◆サイト運営チーム
☆LINE登録者の充実とコンテンツの充実を図る。



新入会員の紹介

が自己紹介を行う。

恒例のアトラクション。今年はおトロンボーン&ピアノデュオ「ピアトロカ」が出演、オーケストラの楽曲をオリジナルアレンジし、迫力と楽しさにあふれる演奏を披露する。我々が応援歌「紺碧の空」が奏でられると、感動の中、声を合わせる。最後に応援部出身の野野澤大地会員の見事なリードにより全員で校歌を斉唱、力強い歌声が会場に響き渡った。

当日は春を思わせる暖かさの中、会場いっぱい笑顔があふれた。

(安田佳裕 記)

2026年度 役員・幹事一覧

- *会長 笹井修一
- *副会長 田中雄一(会計担当)
- 外岡 健(広報担当)
- 山下扶佐子(女性の会担当)
- *幹事長・事務局長 神藤利路

- *幹事 小川道雄 (行事企画運営委員長)
- 洞江 良 (組織拡大活性化委員長)
- 青木 康(広報委員長)
- 松本佐知子(女性委員長)
- 新井敦子(昭和59教育)
- 鈴木秀行(昭和55文学)
- 渡邊智也(昭和55理工)
- 石川一平/市島 徹
- 井上俊弘/金柿 秀

- *監事 小泉英春/瀧澤和美
- 徳永竜彦/野田和宏
- 服部裕治/三ツ村由紀子
- 本谷 守/百瀬 浩
- 安田佳裕/山口金雄
- *退任幹事 洪谷道夫/皆川龍司
- *大字は新任 高野尚志/八田英治
- *苦勞様でした。

日帰り紅葉狩りバスツアー

女性の会

昨年12月5日(金)絶好の晴天の中、33名の期待を乗せて女性委員会主催の紅葉を追いかけるバス旅行が始まりました。

予想よりは暖かい日差しで、まずは埼玉県新座市の平林寺。広い境内で最後の紅葉を堪能しました。「思いもかけない見事さ」の声を残してランチは東川口の「リストランテ 矢澤」。お味・品数・スイーツと満点の豪華さ。また訪れたいという気持ちになりました。

昨年12月5日(金)絶好の晴天の中、33名の期待を乗せて女性委員会主催の紅葉を追いかけるバス旅行が始まりました。

予想よりは暖かい日差しで、まずは埼玉県新座市の平林寺。広い境内で最後の紅葉を堪能しました。「思いもかけない見事さ」の声を残してランチは東川口の「リストランテ 矢澤」。お味・品数・スイーツと満点の豪華さ。また訪れたいという気持ちになりました。

お腹が一杯になったところで草加市へ。「草加せんべいの庭」でお煎餅を焼く体験をしましたが、結構難しいのです。なかなか美味しいと思えるようには出来ず、おみやげにいただいたプロの焼いた草加せんべいはやっぱり美味しい！と違いを実感しました。

最後は川口市の「小林もみじ園」。もみじ・楓を専門に植えて約400種類の赤や黄色が出迎えてくれました。午後の日差しを浴びながら、ベンチに座って甘酒をいただいたあふれる紅葉に囲まれて幸せな一日をかみしめました。

また行きましよう！
(山下扶佐子記)



埼玉県新座市の平林寺にて

穂 漣

惜しくも往路優勝を逃す！

第102回箱根駅伝

今年も例年同様、東地区は社会福祉法人「創」障がい者グループホーム駐車場西地区は湘栄建設辻堂支店駐車場を確保して、会員・校友に多く結集していた。

往路2日は天候に恵まれ、気温は低いが快晴の中スタート。1区の吉倉ナヤブ直希は区間7位とまずまず。2区・山口智規は3位に浮上し、藤沢を走る3区・山口竣平が4位に下がるが4区・鈴木琉胤が区間トップで2位に順位を上げた。しかし、5区・「山の名探偵」工藤慎作は区間3位と力走したが「山の怪物」青山学院の



3区/山口竣平選手

黒田朝日に抜かれ2位で往路を終わった。

復路3日も快晴だが気温は低い、6区・山崎一吹、7区・間瀬田純平、8区・堀野正太、9区・小平敦之(区間2位の力走)、10区・瀬間元輔が昨年と同じ総合4位でフィニッシュした。

箱根駅伝応援は新規の入会希望者が8名もあり、来年度は有望な



8区/堀野正太選手

選手も加入して、頂点を目指す闘いに期待して、応援会場で会いましょう。
(山口金雄記)

【参加者】(敬称略)

- 鎌倉稲門会・大和稲門会・千代田稲門会・相模原稲門会・逗葉稲門会・横須賀三浦稲門会・秋田稲門会・藤沢三田会 他
- 【不寄付】(敬称略)
- 鎌倉稲門会・逗葉稲門会・横須賀三浦稲門会・藤沢三田会・神谷義明・大庭信俊・片山徹・北山健太郎 他

有意義な情報交換が行われる

秋田稲門会交流会

1月2日午後、箱根駅伝3区での選手応援ののち、恒例となった「秋田稲門会」との交流会が市内の居酒屋「宗平」にて開催された。

秋田稲門会から佐野元彦会長はじめ4名、藤沢稲門会より11名、藤沢三田会辻岡義一会長も交え総勢16名の参加があった。

各テーブルでは食事をとりながら、自己紹介、お互いの地域の最近の状況、稲門会活動のことなど様々な情報交換を行った。

開催の時間帯はまさに箱根駅伝5区山登りで工藤選手が力走中、ラグビーでは対帝京大戦の真つ最中であり、スマホテレビ2台による中継に皆一喜一憂、大いに盛り上がった。また秋田の皆さんから寄贈いただいた4つの酒蔵の銘酒を堪能、その酒蔵はいずれも早稲



秋田稲門会の方々と

田と関りが深いとのことである。普段は県内各地域稲門会との交流が主となるが、我々とは取り巻く環境にも違いがある秋田稲門会と情報交換できることはお互いにとって大変有意義なものであり、この交流はぜひ長く続けてまいりたい。
(安田佳裕記)

作品展を初春に開催

第23回作品展

第23回藤沢稲門会作品展が1月6日～11日まで藤沢市民ギャラリーにて出展者39名と2サークルの参加により開催されました。

新春にふさわしいテーマを選んだ方も数多く66点の作品が華やかに会場を埋めつくし

書道・絵画・写真・陶芸・手工芸と継続して毎年参加される作者による安定した作品に加え、書道サークル「遊書会」は南画に挑むとして水墨画に漢詩を合わせた6名による合作を発表。また毎回新たな創作に挑戦する「藤稲言葉遊

びの会」によるパロディー小倉一首は元歌に対しひとひねりした創作歌、時にはクスリと、時にはホロリとする歌が百一首並び圧巻の大作となりました。このように稲門会ならではのユニークかつ活発な創作活動を披露することができました。

今回、1851名にご来場いただきました。その中には藤沢三田会や横浜・鎌倉・茅ヶ崎など各稲門会の方々も多数お見えになりました。

今後ともより活気のある作品展に向け熱のこもった創作活動を続けたいと思います。



第23回藤沢稲門会作品展 (2026年1月6日～1月11日)

小川道雄 (昭和55教育)

作品展出品者の皆様

行事予定

■第18回写真展

主催・藤稲フォトクラブ

日時・4月14日(火)～19日(日)

会場・藤沢市民ギャラリー第1

展示室

(ODAKYU湘南 GATE6階)

■神奈川県下稲門会

女性の会の集い

主管・藤沢稲門会女性の会

日時・4月19日(日)

会場・片瀬海岸「ナルー」

■地引網

日時・5月3日(祝・日)

会場・鶴沼海岸 殿網

※網元が変わりました。

■女性の会主催

きょうは料理II

「ソウルの食卓を湘南で」

日時・6月7日(日)

会場・鶴沼市民センター2階

創作実習室

編集後記

締切りの都合で2月中頃に書いていたが、寒暖の差が大きいこの頃である。

冬季オリンピックがイタリアで開催された。前回の北京と同様人口降雪に大きく頼り、電気代が高み困っているという。理由は定かではないが気候変動があるのは他の現象を見ても明らかと思う。ただ自国選手の活躍を見ると素直に嬉しく思うことは全く変わらない。話は飛ぶが総選挙で過去に例を見ないほど自民党が圧勝した。複数の野党党首がこれからは多党化の時代と言っていたが、全く逆の結果。日本人は同調を好むからとも思う。自然、国際環境の変化はあるが、日本人の思いは変わらない様子。(舛岡 健記)

編集委員長 青木 康

編集委員 中野正一・安田佳裕

山口金雄・山下扶佐子

【次号発行 7月20日予定】